

74 108

南·北韓經濟現況比較

圖書號
100-108-15/1

1974. 6.

國土統一院

74-108-15/1

7.

目 次

1. 北韓 經濟體制 및 政策의 基本路線	3
2. 主要部門別 經濟現況 比較	7
3. 南・北韓 經濟의 構造的 強弱点 및 經濟成長 豫測 比較	27

1. 北韓經濟體制 및 政策의
基本路線



經濟體制比較

自由主義經濟體制	社會主義經濟體制
<ul style="list-style-type: none"> ○ 私有財產 制度 ○ 價格機能에 依한 自律的 資源 配分 ○ 私的利潤 追求 ○ 投資主體。民間企業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生產手段 國有化 ○ 農業의 集團化 ○ 中央集權的 計劃에 依한 劃一的 資源配分

北韓經濟體制

- (1) 生產 手段 國·共有化
 - 個人 商工業 完全消滅
 - 農業의 協同農場化

- (2) 中央集權的 計劃經濟體制
 - 創意斗 能率의 欠如
 - 生産性 低下 招來

共產諸國의 体制變化

(1) 蘇聯 및 東歐

- 1950 年부터 「利潤制度」導入
- 「決定機能」分散
- 制度改革 漸行

(2) 北 韓

- 原始的 形態 管理體制固守

政策의 基本路線

(1) 重工業 優先策

- 重工業對 輕工業 投資比率 8 : 2

(2) 封鎖體制 固守

- 一國家 社會主義 理論

(3) 國防・經濟의 併進策

- 歲出豫算中 國防費 31 %

2. 主要部門別 現況 比較

가. 總量部門 (GNP)

區 分	韓 國	北 韓
G N P (億弗)	98.4	38.2
1 人 當 G N P (弗)	303	260
軍 事 費 貧 擔 率 (軍事費 / G N P) (%)	4.5	14
投 資 額 / G N P (%)	20.9 (國內貯蓄 : 14.6) (海外貯蓄 : 6.3)	31('70)

分 析 評 価

○ 北 韓

GNP : 韓國의 40% 未達

國內貯蓄 31%。經濟成長率 7%

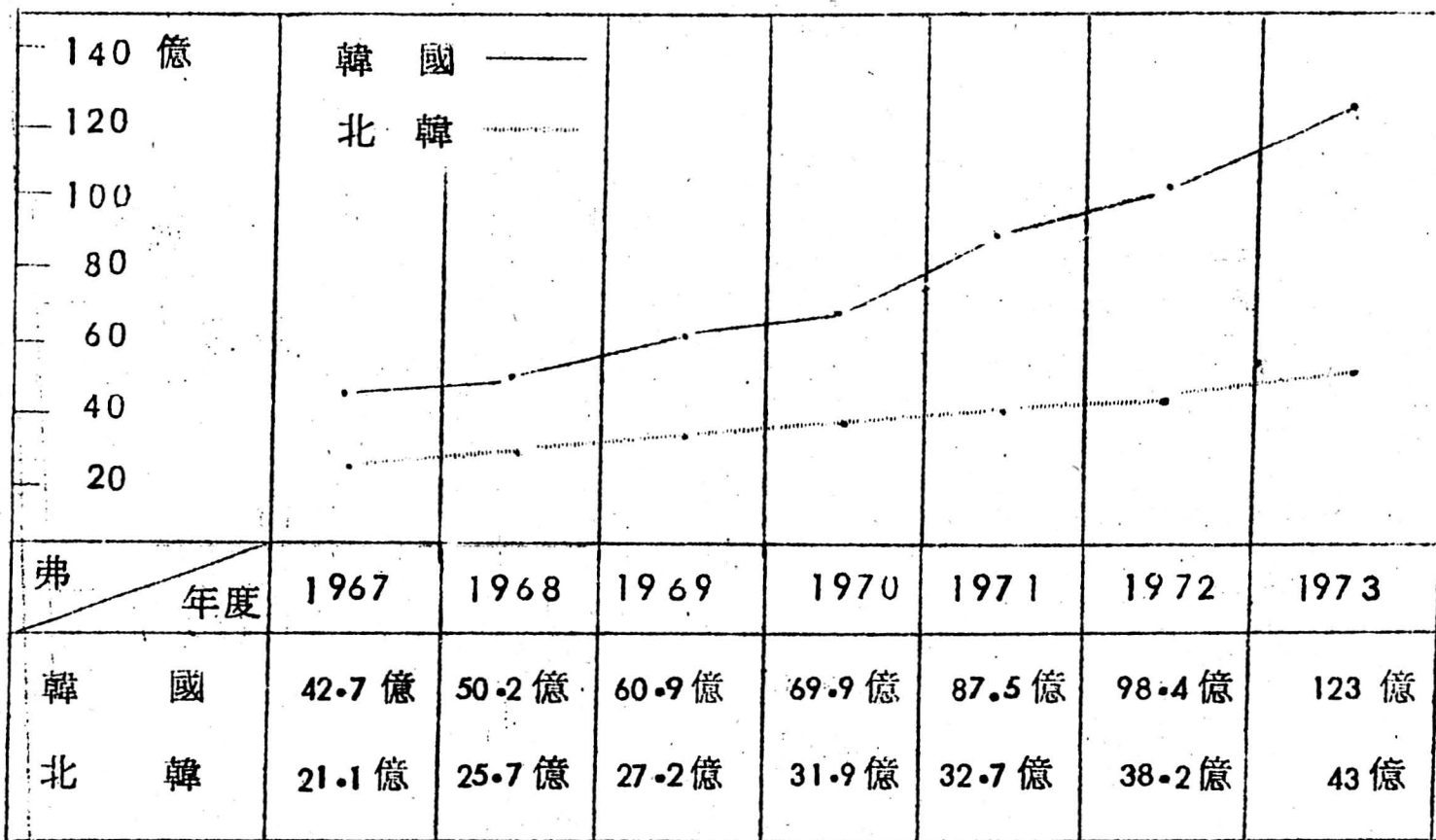
資本係數 4 ~ 5。資本浪費。非効率性極甚

○ 韓 國

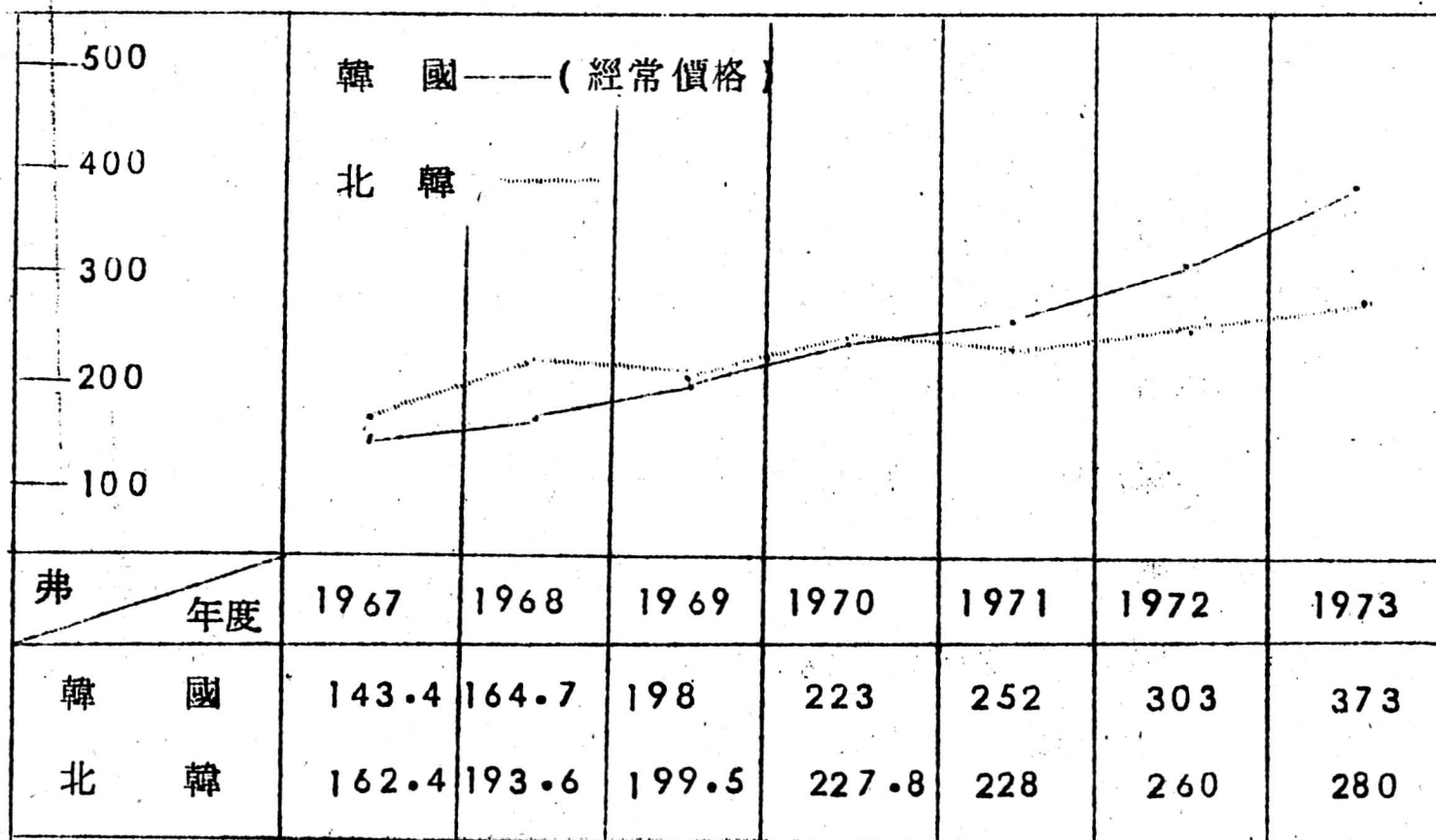
73年 GNP 成長率 16.9%

高度成長持續

○ 南北韓 GNP 增加推移



○ 南北韓 1 人當 GNP 變化推移



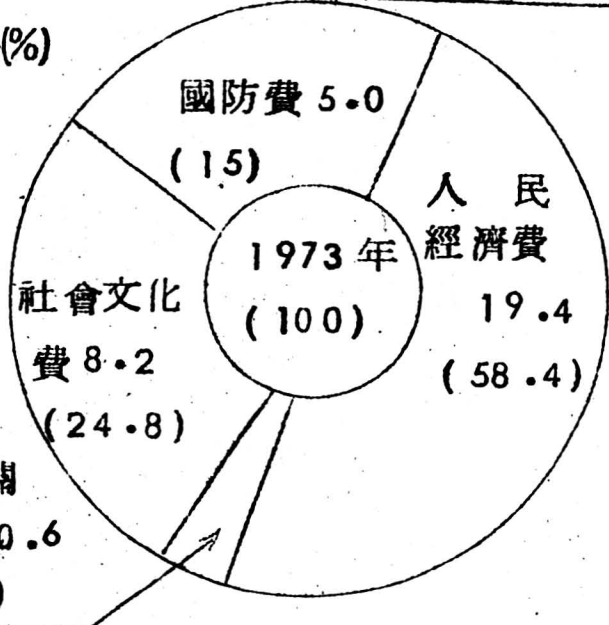
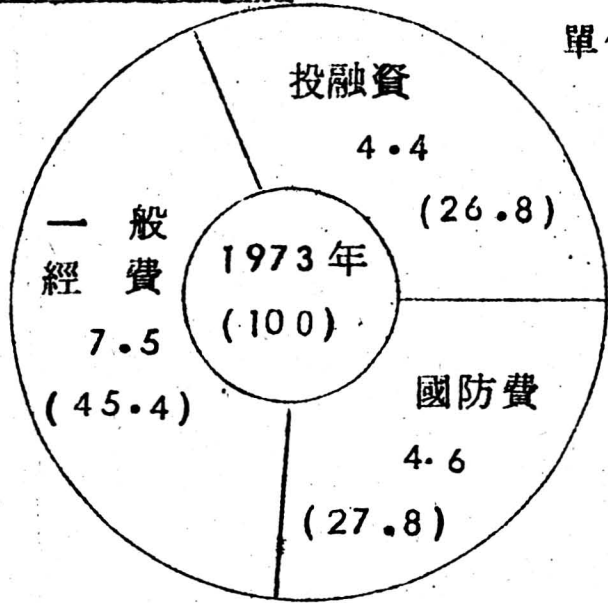
4. 歲出入予算規模

歲 出

韓國：16.5 億弗

北韓：33.2 億弗

單位：億弗(%)



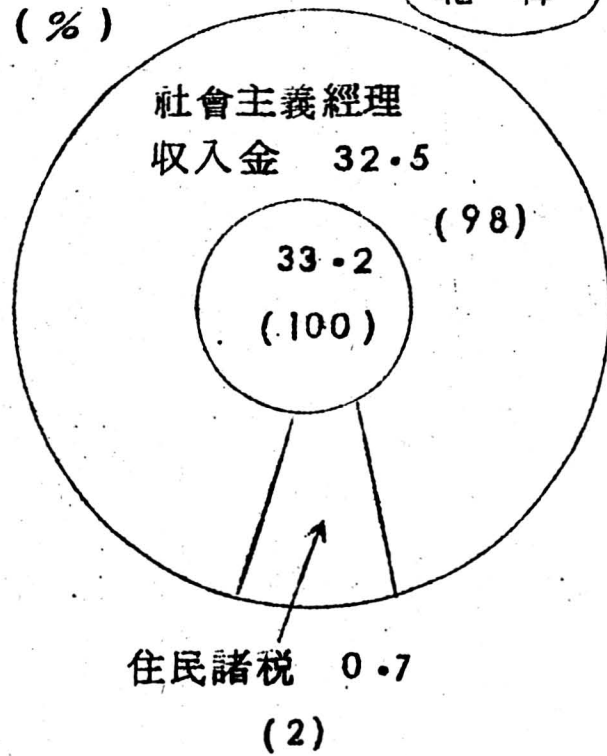
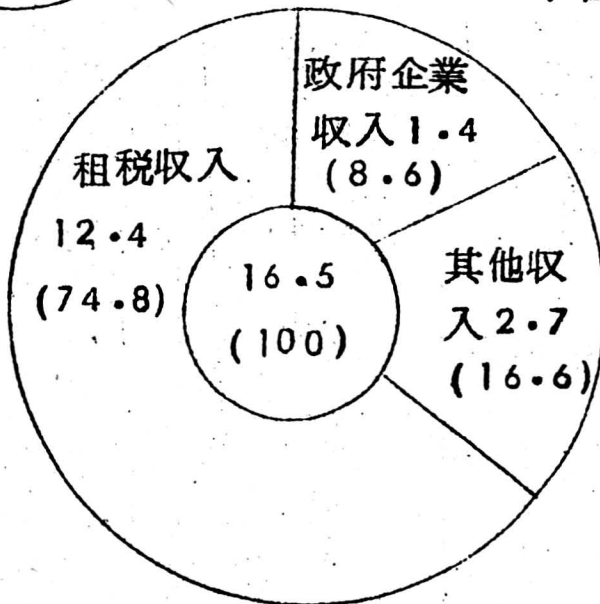
國家機關
管理費 0.6
(1.8)

歲 入

韓國

北韓

單位：億弗 (%)



分 析 評 価

○ 經濟體制相異。北韓豫算 韓國의 2.3 倍

· 豫算 / GNP : 韓國 18.4 %

北韓 75 %

○ 韓 國 : 租稅收入。歲入의 大宗

○ 北 韓 : 國防費。對豫算比重減少

(他項目에 隱蔽)

北韓의 國防費膨張率

(단 위 : %)

年 度	支出總額	人民經濟費	社會文化費	國 防 費	國家機關 管 理 費
1966	100	61.6	17.3	19.0	2.1
1967	100	50.1	17.5	30.4	2.0
1968	100	48.9	17.2	32.4	1.5
1969	100	47.6	19.7	31.0	1.7
1970	100	49.2	19.7	29.4	1.7
1971	100	48.0	19.2	31.1	1.7

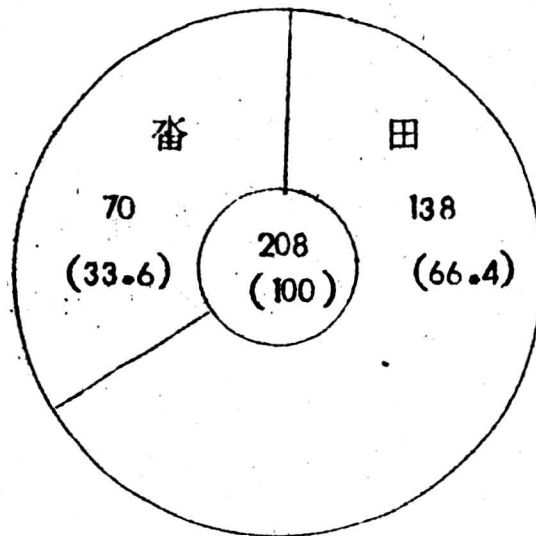
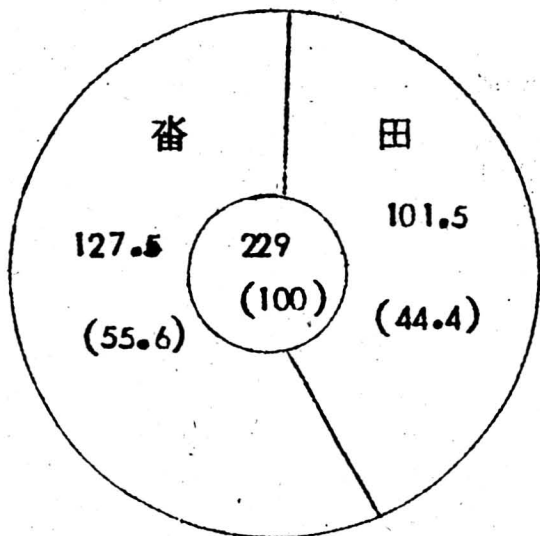
叶・農水産部門（一次産業）

農業生産基盤

韓 国

单位：万町步
(%)

北 韓



營 農 現 代 化

区 分		韓 国	北 韓
農戶当耕地面積 (町步)		0.92	1.6
農業機械化	트랙타 (台)	212	4~5萬 (100町步当2.5)
	耕耘機	24,786	
化学肥料施肥量 (町步当成分含量kg)		287	200

分 析 評 価

- 畜面積：北韓の 1.8 倍
- 田面積：北韓の 73%
- 1人当耕地面積：
 - 韓国一 213 坪
 - 北韓一 435 坪
- 機械化：北韓一 優勢
- 化学化：韓国一 優勢

穀物生産実績

区 分		韓 国(72年)	北 韓(70年)
食糧作物生産 (万吨)	総生産量	711.4	625
	精 穀	644 (白米 396)	450 (알곡 500)
	薯 類	67.4	125
食糧作物生産増加率 (61年対比70年)		32%増	12%増

分 析 評 価

○ 町歩当 米穀生産量 (70 年)

韓 国 : 3.25 屯

北 韓 : 2.99 屯

○ 人口 1 人当 食糧生産量

韓 国 : 237 kg

北 韓 : 414 kg (混食率 5 : 5)

斗・鉦工業部門（二次産業）

南北韓資源賦存現況

- 8.15 解放当時
- 重工業：北韓偏重 80%
 - 地下資源：北韓 偏在
(鉄 87%, 無煙炭 89%, 有煙炭 98%)
 - 電力：北韓 偏重 96%



○ 鉦業及 金属工業 發展与件 有利

金 属 工 業

区 分	韓 国 (73年)	北 韓 (72年)
鉄 鉄 (万吨)	45	222
鋼 鉄 (万吨)	246	243
銅 (万吨)	0.9 (電気銅)	3

化 学 工 業

(单位 : 万吨 , 72年)

区 分	韓 国	北 韓
化 学 肥 料 (成分屯)	141 (63.2)	設備能力 150 (40)
主 要 合 成 樹 脂	8.5	4
原 油 处 理 能 力	1,320	200
爆 藥 生 產	1	1.4

分 析 評 価

- 金属工業 : 60年代 北韓 優勢 堅持
73年 韓国 綜合製鉄稼動 ,
金属製品生産急増
- 化学工業 : 韓国優勢
精油 石油化学系列化
北韓 , 技術水準落後

機械 및 運輸 造船工業

(單位：台，72年)

韓 国	北 韓
原 動 機 生 產 1万4千	
金 屬 加 工 機 械 4千6百	各 種 工 作 機 械 2万3千
產 業 用 電 氣 器 機 5万8千	
最 大 船 建 造 實 績 1万3千屯 (輸 送 船)	最 大 船 建 造 實 績 5千屯 (冷 凍 船)
自 動 車 生 產 能 力 9万1千	트랙타 15馬力換算 9千
	디젤機關車 20
	電氣機關車 30

分 析 評 価

- 北 韓：一般機械，工作機械工業 育成
- 韓 国：自動車，造船，電子工業 優勢
- 北 韓：1万吨級 以上の造船努力 傾注
(174 金日成 新年辭)

建 材 및 輕 工 業

政策背景

<p>韓 國 (国民生活為主)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民厚生 極大化 ○ 消費財 → 生産財 ○ 生活水準 向上
<p>北 韓 (住民福祉無視)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重工業 優先策 ○ 重工業 → 輕工業 (産業間 不均衡深化) ○ 勞動力 刺戟 爲한 出資 (住民의 慾求, 福祉無視)

生産実績

(1972 年)

区 分	韓 國	北 韓
織 物 生 産	4.3 億 m^2	4.6 億 m
T V 및 라디오	TV 31 万台 라디오 186 万台	라디오 10 万台 ('70)
板 유 리	174 万 C/S	48 万 C/S
씨 멘 트	650 万吨	500 万吨

分 析 評 価

- 시멘트, 板유리, 建材類 生産能力 韓国 優勢
- 韓国, 所得水準向上 및 輸出 增加로 耐久消費財 生産 急増
- 織物生産量 韓国 越等 優勢

叶. 社会間接資本部門

(1972 年)

區 分	韓 国	北 韓
發電施設容量 (萬kw)	427	340
電信, 電話 (萬回線)	72	20
鐵道延長 (km)	5,506	4,198
高速道路 (km)	1,007	平壤—板門店 道路鋪裝
荷役能力 (萬屯)	2,200	1,000

分析評価

- 發電施設容量 : 韓国 優勢
- 「에너지」總消費面 : 韓国 — 多樣化 (石炭, 石油等)
北韓 — 電力, 石炭 集中依存
- 陸・海・空 運輸部門 : 韓国 圧倒的 優勢

바. 國際收支 및 輸出入貿易

北韓의 貿易政策

<憲法 34 條>

- 國家管理에 依한 計劃貿易
- 對外貿易의 國內經濟 從屬化
- 輸入計劃에 의한 輸出計劃
(輸出은 輸入의 手段)

貿易現況

區 分		韓國 (73 年)	北韓 (72 年)
貿易構造	貿易總額 (億弗)	75.7	10.3
	輸 出	32.4	4.7
	輸 入	43.3	5.6
輸出構造	原料 및 1次產品 (%)	12.7	64.6
	製造業製品 (%)	87.3	35.4

分析 評 価

○ 韓 国

製品輸出 與 原資材輸入 → 技術高度化 反證

○ 北 韓

原資材輸出 與 製品輸入 → 技術的 低水準 反證

對外經濟協力強化試圖 → 投資与件不備 成果別無

北韓의 地域別貿易動向

輸 出

(1970 年)

總 額	3.1 億弗 (100 %)
共 産 陣 營	2.4 (76.8)
中 立 陣 營	0.09 (2.7)
自 由 陣 營	0.7 (20.5)

○ 对蘇聯・中共 貿易大宗

○ 日・朝貿易 增加趨勢

(72 年度 对前年比 123 % 增加)

사. 国民經濟生活(消費函数)比較

生活水準比較

消費函数

生産財貨分配

南北韓比較의 制約要因

- 價格構造 相異
- 消費「패턴」의 相異
- 北韓統計 信憑度 低박

國民總生産과 可處分所得

(1972年)

區 分	韓 国	北 韓
1人當 GNP (弗)	303	260
總投資率 (%)	(20.9)	(31)
1人當投資額 (弗)	44.3	80.6
國防費/GNP (%)	(4.5)	(14)
1人當國防費支出額 (弗)	13.6	36
可處分所得 (弗)	245.1	143.4
	303 - (44.3 + 13.6)	260 - (80.6 + 36)

分 析 評 価

- 實質的 可處分所得 隔差 顯著
(韓国 245.1 弗 : 北韓 143.4 弗)
- 北韓 : 唯一體制 固守爲한 戰時經濟體制化
 - 經營體制 - 軍隊式 編制導入
 - 各種社會主義競爭運動展開

共產主義經濟體制的 弱點

勞 動 的 低 生 產 性

蘇 • 東 歐

北 韓

「哥스」理論 適用 再檢討

(時代適應性 喪失 立證)

基本教理 適用 固守

(住民勞動 榨取 強化)

3. 南・北韓 經濟의 構造的 強弱点
및 經濟成長 予測 比較

60年代成果

韓国

- 基礎産業施設拡充（輸入代替 産業育成）
- 軽工業 → 重工業
- 工業構造改善（1971年 現在）
軽工業：重工業 = 66.4 : 33.6

結果

諸分野 北韓 凌駕（軍需，機械工業 除外）

北韓

- 重工業 優先策持続（50, 60年代）
軍需産業為主，産業間 不均衡深化
重工業 → 軽工業 逆行
- 基本政策 不変時，經濟成長 潜在力 限界 到達

構造的 強・弱点 比較

強 点

韓 国	北 韓
<ul style="list-style-type: none"> ○ GNP 및 1人当 GNP 北 韓 凌駕 ○ 産業基盤近代化, 輸出의 劃 期的 増大 ● 国際經濟協力 強化 (高度成長 持續) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地下資源 北韓 偏在 ● 金屬 機械 및 軍需工業 發達 ○ 海外 依存度가 낮음

弱 点

韓 国	北 韓
<ul style="list-style-type: none"> ○ 外資依存度가 높고 国際収支 赤字持續 ○ 工業原料 輸入依存 深化 (国際인프레 및 資源波動 影響 多大) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輕工業 및 社会間接施設 落後 ○ 国際經濟協力 不振 (開發財源 不足, 技術革新 蹉跌)

70年代展望

韓國

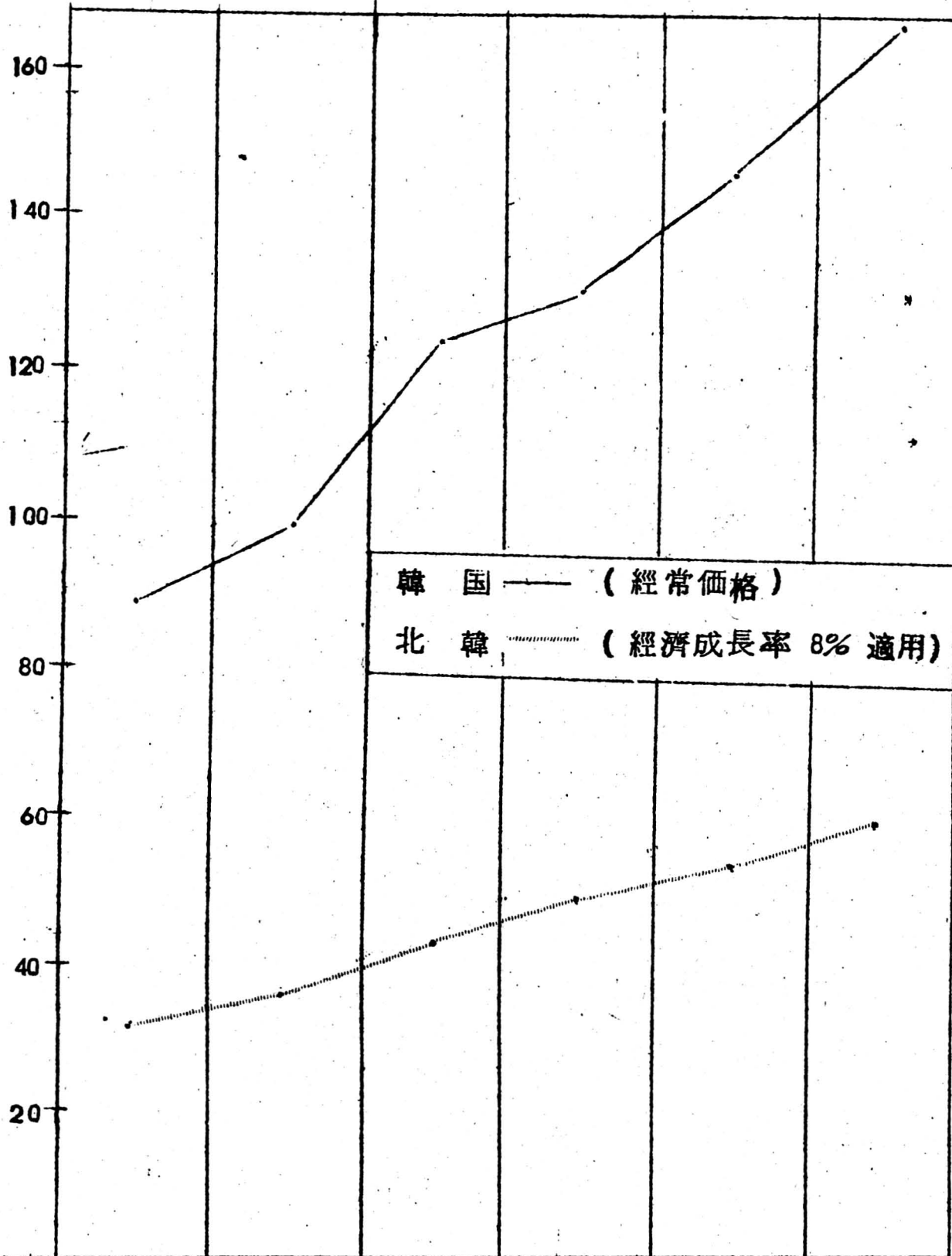
- 重・化学工業의 重点育成
(機械・金屬・化学・造船工業의 急速한 發展予想)
- 輸出 및 國民所得 劃期的 增大
- 1976年度 GNP 北韓의 3.1倍

北韓의 經濟發展 制約要因

- (1) 軍事費負擔過重，開發資源 不足
- (2) 國際經濟協力不振，技術革新蹙跌
- (3) 企業所 規模 國際水準 未達
(技術水準 落後)

- 6個年計劃 目標達成 可能 分野
(電力，金屬，石炭生產 部門)

南北韓 国民所得 (GNP) 成長予測 (76年)



億弗 / 年度	1971	1972	1973	1974	1975	1976
韓国	87.5	98.4	123	128	147	168
北韓	32.7	38.2	43	46.4	50.1	54.1

70年代 北韓의 苦悶

構造的 矛盾 克服

開放體制 轉換 不可避

基本政策路線變更時

教條主義 權力體制 崩壞 危險